

# 大 阪 市

## 「喜連瓜破地区」交通バリアフリー

### 基本構想

平成17年4月

#### - 目 次 -

1. 基本理念・基本方針	1
1-1. 地区の概要	1
1-2. 基本理念・基本方針	2
2. 重点整備地区	3
2-1. 交通バリアフリー法での考え方	3
2-2. 大阪市での考え方	3
2-3. 地区における重点整備地区	4
3. 主要な経路	5
3-1. 大阪市の経路設定の基本的な考え方	5
3-2. 地区における主要な経路等の設定	5
4. 整備の基本的考え方と整備内容	7
4-1. 公共交通	7
4-2. 道路・交差点等	11
4-3. ソフト対策等	15
5. 継続的な改善に向けて	16
(参考)用語の解説	17

文中の( )印を付けた用語は、「参考：用語の解説」に示す。

参考資料1. 喜連瓜破地区交通バリアフリー基本構想策定の検討体制	1
参考資料2. 喜連瓜破地区交通バリアフリー基本構想の検討経緯	1
参考資料3. 市民(高齢者・障害者等)からの意見の聴取(わがまちウォッチングの実施)	2
参考資料4. 主要な経路の路線名一覧	6
参考資料5. 喜連瓜破地区基本構想検討会議における主な意見とその対応	7
参考資料6. 平成16年度 大阪市(6地区)交通バリアフリー基本構想素案に係る、パブリックコメント結果一覧表	10

# 1. 基本理念・基本方針

## 1-1. 地区の概要

喜連瓜破区は、大阪市の東南部に位置し、地下鉄谷町線喜連瓜破駅が立地している。駅の1日当たりの平均的な利用者数は約25千(人/日)である。

喜連瓜破地区が位置する平野区は、市内第3位の面積を有する区で、人口では、市内第1位の区として発展している。

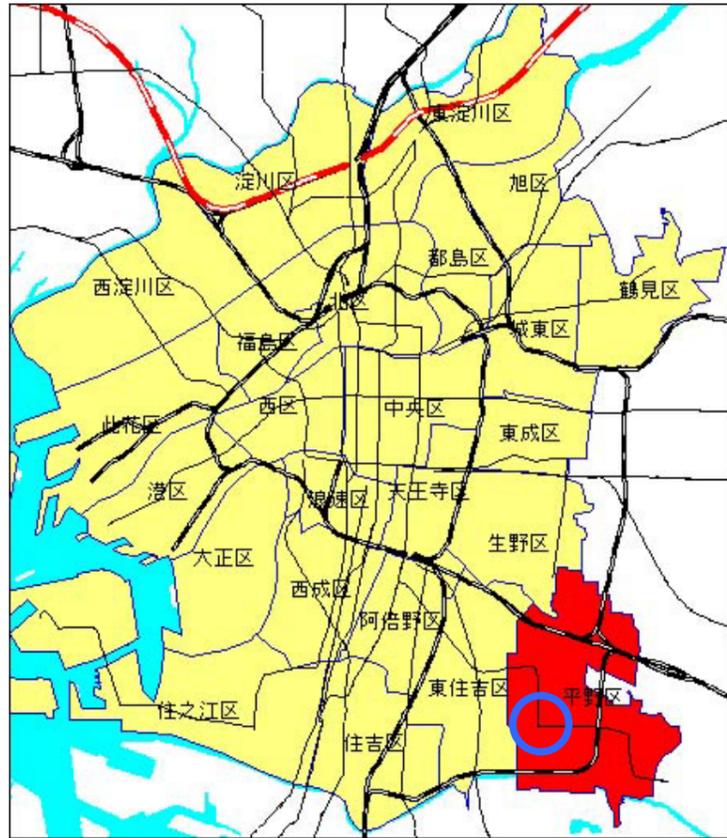


図 1.1 喜連瓜破地区の位置

表 1.1 1日当たりの平均的な利用者数(平成15年3月末現在)

路線名	駅名	乗降客数(千人)
地下鉄谷町線	喜連瓜破駅	25
合計		25

### 基本構想対象駅及びその周辺の現況(約500m圏)

喜連瓜破地区は、公営住宅や中高層マンションの建設が集中し、全般的に住居地域としての性格を有している。

喜連瓜破駅周辺は、商業施設や公共施設が集まって立地している。また、国道479号や府道などの幹線道路が東西南北に伸びており、交通利便性、生活利便性が高いまちである。

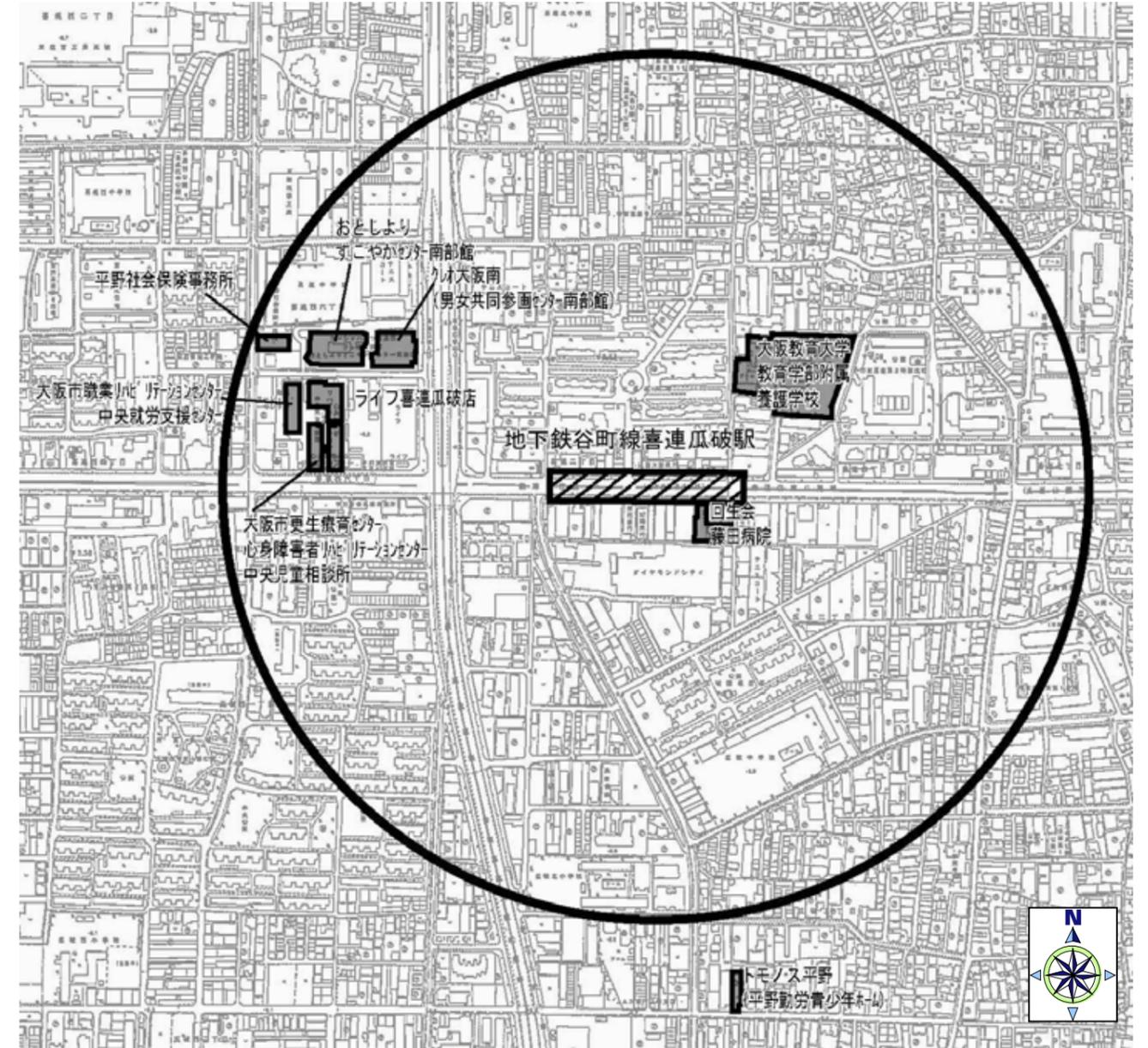


図 1.2 対象駅周辺図(約500m圏)

## 1 - 2 . 基本理念・基本方針

### ( 1 ) 基本理念

#### 安心して歩ける、心触れ合う広々とした空間・ひらの

喜連瓜破地区は、住居地域としての性格を有するまちである。

本地区の喜連瓜破駅においては、エレベーターや車いす対応型のトイレが整備され、幹線道路においても広幅員の歩道が整備され、既に、バリアフリー化が推進されている。

しかし、駅周辺の歩道の放置自転車や違法看板などで、通行が困難になっている箇所があるなど、高齢者や障害者にとっては、移動が制約される課題がある。

また、養護学校やリハビリテーションセンターなど、広域的な利用がある施設があることから、初めて訪れる人でも、安全に安心して歩けるように、ハード、ソフトの両面からバリアフリーを推進し移動の円滑化を図る。

よって、本地区は、高齢者や障害者をはじめ誰もが安全、安心して歩けるように、住民、行政、事業者が連携し協働して、温かいコミュニティを生かしたまちづくりの実現を目指す。

### ( 2 ) 基本方針

#### 1 ) 各施設における課題

各施設における課題を、以下の2つの項目で整理する。

##### 鉄道駅

- ・エレベーターが改札口から遠い位置に設置してあるので、養護学校側に行くには遠回りになる。
- ・トイレ、階段手すり、連絡通路等の案内表示がわからない
- ・券売機などは、点字表示がないボタンがあったり、回数券や取り消しボタンなど、高い位置のボタンが届かないなど、障害者にとっては使いにくいものになっている。
- ・ホームや連絡通路に、緊急事態発生を知らせるものがなく、視覚障害者や聴覚障害者にも情報提供できる多種多様な伝達手段を検討する必要がある。



改札口からエレベーターまでが遠い(例)



券売機が使いにくい(例)

##### 道路等

- ・駅周辺では、路上駐車、放置自転車、違法看板があり、人が通行できる幅が狭められている箇所がある。
- ・横断歩道が長いのに、歩行者信号の点滅の時間が長くなっていない。(国道479号)
- ・交通量が多く、車の騒音で音響信号が聞こえない。



長い横断歩道(例)



放置自転車がが多い(例)

## 2) 基本方針

以上の問題・課題を踏まえて、喜連瓜破地区の基本方針は、以下のとおりとした。

### 初めて訪れる人でも安心して利用できる駅のバリアフリーを充実させる。

- ・駅施設においては、エレベーター、車いす対応型トイレなど、一定の設備が整備されているが、券売機の使いやすさ、エレベーターの設置位置など、障害者にとってはまだ不便な面がある。このことから、施設の設備は、機器の技術革新または更新に併せて、安全で、より快適に、初めて訪れる人でも、利用しやすい仕様で整備する。
- ・他交通機関への乗り換えやトイレ等の案内を、わかりやすく・安全・快適に移動できるような誘導案内の充実を図る。

### 安全で、快適に、スムーズに移動できる経路のバリアフリーを充実させる。

- ・駅から主要施設までの歩道においては、段差や勾配の改善を行い、安全・快適に移動できる経路として整備する。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの敷設や、わかりやすい案内・誘導を充実する。
- ・横断歩道においては、信号機の機能の高度化（LED、歩車分離式）等を検討し、誰もが安心して渡れるよう整備を図る。

### 自分自身で出来ることからはじめられる、心のバリアフリーを充実させる。

- ・まちを利用する人が気持ちよく歩けるために、放置自転車、違法看板が歩行者に与える影響を理解してもらい、バリアフリーに対する意識や交通マナーの向上を図る。

## 2. 重点整備地区

喜連瓜破地区における重点整備地区を以下のような考え方に基づいて設定する。

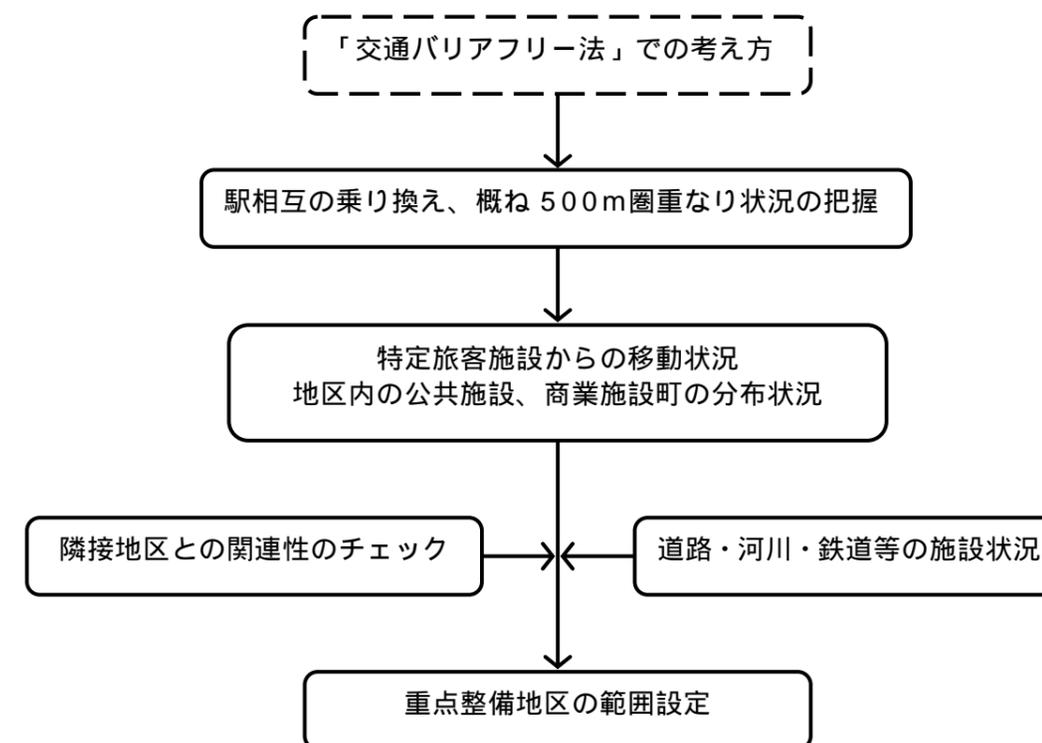
### 2-1. 交通バリアフリー法での考え方

「交通バリアフリー法」では重点整備地区の範囲設定に関して次のような方針を示している。

徒歩圏として一体的に整備すべき重点整備地区は、特定旅客施設から概ね500m～1km以内とする。但し、具体的な区域設定は、高齢者・身体障害者等の特定旅客施設からの移動の状況、施設の分布状況を踏まえて判断することが必要である。また、区域は、できる限り町境・字境、道路、河川、鉄道等の施設、都市計画道路等によって、明確に表示して定めることが必要である。

### 2-2. 大阪市での考え方

大阪市では、複数の駅が集中していることから、駅相互の乗り換え状況及び各駅から概ね500m圏の重なり状況、また、駅周辺の公共施設及び商業施設がどのように分布しているかを考えながら、道路・河川・鉄道などで区域を設定していく。



## 2 - 3 . 地区における重点整備地区

喜連瓜破の重点整備地区は、以下の考え方にに基づき、喜連瓜破駅を中心とした面積約 92 ha の区域とする。

### 駅 500m 圏を中心に地区のまとまりを考慮した範囲

駅から 500m 圏を中心に、幹線道路の位置を考慮して重点整備地区を位置づける。

### 高齢者、障害者等が広域的に利用する施設を含む範囲

高齢者、障害者等が広域的に利用する施設（トモノス平野、職業リハビリテーションセンター、大阪教育大学教育学部附属養護学校）を含む範囲を重点整備地区に位置づける。

### 地区内の主要な施設で高齢者や障害者をはじめ市民が多数利用する施設を含む範囲

平野社会保険事務所、中央就労支援センター、藤田病院など、市民が多数利用する施設を含む範囲を重点整備地区に位置づける。

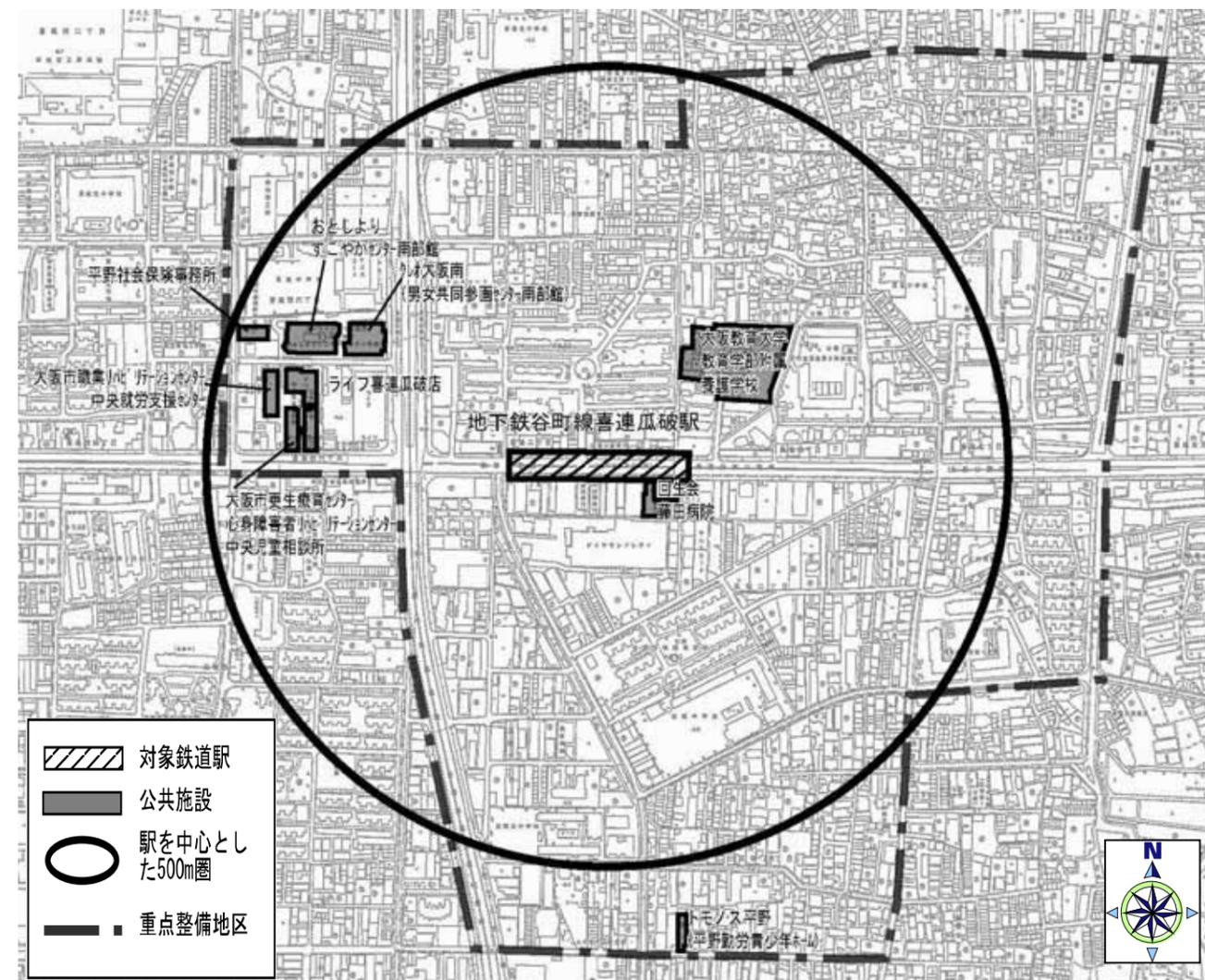


図 2.1 重点整備地区

### 3 . 主要な経路

#### 3 - 1 . 大阪市の経路設定の基本的な考え方

駅を中心とした地区内の道路をバリアフリー化していくために、当該地区内の主要施設までの経路を中心として考えていく必要がある。その考え方を以下に示す。

経路設定については、市域全体として次の様な考え方に基づき設定する。

##### (1)主要な経路

主要な経路は、だれもが安全・快適に移動できることを考慮して選定する。また、経路については、以下の考え方により設定する。

駅から周辺の主要な施設（主要官公庁施設、福祉施設、大規模病院、集客施設、大規模商業施設、商店街など）の入口までの経路

商業・業務施設、文化施設、公園などが面的・線的に広がる地区における、施設間の回遊を考慮した経路

既決定の重点整備地区内の主要な経路との連続した経路

すでに決定されている重点整備地区内の主要な経路に当たる道路が連続している場合、その経路について主要な経路として設定する。

##### (2)鉄道駅乗り換え経路

複数の鉄道駅間の乗り換えにおいて、鉄道施設内で乗り換え経路が確保されていない場合、道路、地下街、鉄道施設内自由通路等を「鉄道駅乗り換え経路」として設定する。

#### 3 - 2 . 地区における主要な経路の設定

市域全体の考え方に沿って、当地区では左記 3-1(1) に基づき、主要な経路を設定する。

##### (1)主な経路

表 主要な経路

路線名	選定理由
国道 479 号 府道住吉八尾線（長居公園通） 国道 309 号 平野第 1449 号線	喜連瓜破駅から「平野社会保険事務所」「職業リハビリテーションセンター」「中央就労支援センター」「更生療育センター」等を結ぶ経路
国道 479 号 府道住吉八尾線（長居公園通） 平野第 1449 号線 住吉区第 1553 号線	喜連瓜破駅から「おとしよりすこやかセンター南部館」「クレオ大阪南」を結ぶ経路
府道住吉八尾線（長居公園通） 平野区第 3018 号線	喜連瓜破駅から「大阪教育大学教育学部附属養護学校」を結ぶ経路
府道住吉八尾線（長居公園通） 瓜破第 43 号線	喜連瓜破駅から「トモノス平野」を結ぶ経路